



いざという時に役立つ知識と技術を身につけませんか？

第 23 回相澤 ICLS コース(オープンコース)開催のお知らせ

皆さんは「目の前で人が倒れたら、どうしますか？」「救急の現場に直接携わっていないから、自分には関係ない」と思いませんか？心停止はいつ、どこで、誰にでも起こりうる身近な出来事です。そして、その場に居合わせた人が適切な処置を行うことで、救われる命があります。

今回、いざという時の知識と技術を身につけられる、相澤 ICLS コースに地域医療連携推進法人として共同参加が可能となりました。

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)とは、「突然の心停止に対する初期対応」を学ぶための実践的な講習会です。内容は、一次救命法(器具を使用しない蘇生法)及び二次救命法(器具を用いた蘇生法)の講義と実習で、AEDについても学びます。講習の最後に実技試験を行い、日本救急医学会公認の修了証が授与されます。ぜひご参加下さい。

開催日時：2026年6月13日(土)8:30～17:30頃まで

会場：相澤病院ヤマサホール

対象者：医療従事者(看護師、救急救命士、救急隊員、臨床検査技師、
診療放射線技師、臨床工学技士、薬剤師)

定員：6名(定員になり次第締切)

受講料：8,000円

※受講後『救急医学会認定終了証』が発行されます

※申し込み締め切り:2026年4月30日(木)まで(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

※参加希望の方は申込書が「参加法人専用ページ(要パスワード)」にあります。

自施設の事務担当者にご相談ください。

<お問い合わせ>

地域医療連携推進法人 信州松本ヘルスケアネットワーク

<事務局>社会医療法人財団慈泉会内 担当 上條/小松

TEL:0263-33-8600 FAX:0263-32-6763 mail:smhn@ai-hosp.or.jp